

特集 ”大町のツイン長屋”

秋田市大町で施工中だった2軒の住宅が竣工しましたので、ニュースレターをお読みの方にはHPにさきかてご紹介させていただきます。この地域特有の、間口が狭く奥行きが長い「鰻の寝床」状の敷地です。ここに、敷地分割をして2軒の住宅を建築しました。周辺は、商業施設と住宅が高密度に建て込んでおり良好な住環境からは程遠い印象です。このようなロケーションの敷地に建築したのが、この大町のツイン町屋です。



ツイン町屋-1

リビング。東に面し、坪庭を介して明るい日差しが入ります。華道教室を兼ねるため、縁無しタミ敷きとなっています。



ツイン町屋-2

リビング・ダイニング。ツイン長屋-1の白いインテリアとは対照的にウッディなインテリア。床は同じくスプルス三層フロア、壁・天井は杉無節の無垢板張り。



ツイン町屋-1

リビング入口方向を見る。右手にキッチン、左手は華道教室用の流し。全体に白いインテリアで、床はスプルス三層フロア、壁は珪藻土塗壁という自然素材で構成されます。



ツイン町屋-1

リビングよりダイニングキッチンを見る。コンパクトなキッチンですが、たくさんの収納があります。ダイニングとリビングは、必要に応じてロールスクリーンで間仕切ります。



ツイン町屋-1

2階個室。東側に面してサンルームが併設されています。ポリカーボネートの全面建具を通して、柔らかな日差しが入ります。



ツイン町屋-2

リビングよりエントランス方向を見る。左手開口部の外部が玄関アプローチ。キッチンは対面式で、その横を通して水回りがつながります。



ツイン町屋-2

ダイニングより階段方向を見る。階段はササラ桁方式で、上部は暖房効率を考慮し、乳半のポリカーボネートで覆いスライド式の建具と共に、インテリアのデザイン要素としても活かされています。



ツイン町屋-2

玄関アプローチ。リビング横を通して奥まった玄関に入ります。アプローチは、ルーバーに囲まれたデッキ状になっており、外部とつながる中間領域としてもデザインされています。

スタッフの日常・非日常 vol.30



普通、建築の外部というと、建築本体に付属する空間というふう捉えがちですが、ここではまったく等価なものとして、内部と外部が両立し並置されているように感じました。外に出たとき、また、中に入ったとき、白黒反転するように、パチッとメイン空間が切り替わった感覚を覚えます。こういう質を持った建築はおそらく他にありません。箱の配置の仕方というよりも、それらをつなぐガラスの回廊がふたつの空間のインターフェースとして、とても重要な役割を果たしていますうんぬんかんぬん…。というわけで、黄金にきらめく紅葉のトンネルをぐりぬけて、十和田市現代美術館に行ってきたのであります。さて、金曜日は西沢さんの講演会。楽しみだ。



今月のマテリアル



ロイヤル金物

専門用語でいわゆる「ガチャ柱」と呼ばれる金物です。店舗の什器などでよく見られますが、住宅では収納内部などに可動式の棚板を設置する場合に使います。メーカーは多々ありますが、ロイヤルのものが一般的で、金物の出っ張りや幅も目立たないので、良いです。たとえ物入れの中でも、出来るだけカッコ悪くないように、そして勿論使いやすいように、気を配っています。



編集後記 《仙台オフィス開設》

みなさん、こんにちは。早くも11月になりましたね、今年もあと2カ月です。

前回のニュースレターでチラッと予告しました通り、「仙台オフィス」を開設いたしました。オフィス開設につきましてはこちらをご覧いただきたいと思いますが、開設するまでには様々な不安や葛藤の中で、正直かなりの迷いもありました。何度も「何で今更」と考え出したり、「行く事が無理な理由」を探し始めたりと、かなり掛けそうにもなりました。しかし最終的には、「行きたいから行く。やりたいからやる。」というシンプルな境地にたどり着き、「やるだけやってみよう、ダメならしょうがないじゃん。」と聞き直ることで行動に移すことができました。自分のわがままを聞いてくれた家族には、最も感謝しています。秋田・仙台と、週の半分ずつを過ごすことになり、気力的・体力的・経済的にも結構きつい場面もあると思いますが、どのような結果であれ、それが自分で納得できる結果であるように頑張ってみたくと思います。なお一層の、ご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

それでは次回どうぞお楽しみに。



初公開、とりあえずの仙台オフィス。準備が整うまで、もう少しかかりそうです。

お知らせ

日本建築家協会東北支部秋田大会



テーマ：地域再生 [縮小する地域と建築家の役割]

趣旨：いま東北の地方都市は人口減少と少子高齢化の波により地域経済の衰退や財政の破綻という問題に直面しています。このままでは私たち建築家という職能の存在すら危うくなりかねない状況にあります。私たちの地域が限界を超えて消滅してしまわないためには建築家として今、何をすべきかを考えたいと思います。

会場：秋田市民交流プラザ ALVE

日時：11月12日(金)
14:10～西沢立衛氏による基調講演
15:40～戸原太郎氏・水戸部裕行氏・西沢氏・佐々木孝氏によるシンポジウム。当日の参加大歓迎です。一般の方も是非足をお運びください。
11:00～17:00 秋田駅東西連絡自由通路(ほほろーど)においてJIA東北支部会員作品展・JIA東北住宅大賞入賞作品展・第14回JIA東北建築学生賞入賞作品展を開催します。建築家の作品の数々をご堪能ください。

主催：日本建築家協会(JIA)東北支部
後援：秋田県/秋田市/秋田大学/秋田県立大学/国際教養大学/秋田公立美術工芸短期大学/秋田県建築士会/秋田県建築士事務所協会/日本建築学会東北支部/秋田魁新報社/建設新聞社/東北専門新聞連盟/NHK秋田放送局/ABS秋田放送/AAB秋田朝日放送/AKT秋田テレビ

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 018-831-4315
FAX. 018-831-4316
HP. http://www.issei-design.com/
BLOG. http://www.issei-design.com/blog/
MAIL. info@issei-design.com